

清涼飲料用キャップについて

(清涼飲料用キャップの未開栓、開栓済みの見分け方)



日本キャップ協会

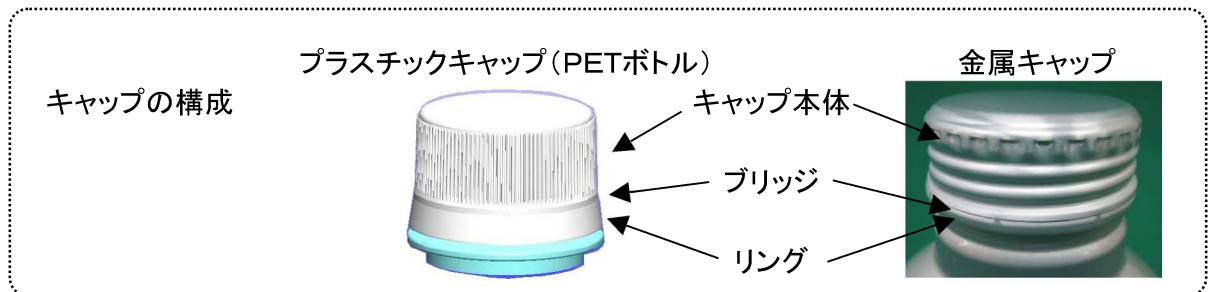
常日頃、キャップをお使いいただきありがとうございます。この度、新聞等で報道されておりますように清涼飲料水をお飲みになったお客様が気分が悪くなったり、入院されるという事件が発生いたしました。被害を受けられた方、ご家族の方々はじめ皆様にご心配をおかけしております。

清涼飲料用のキャップには、中身を保持する密封機能、飲むために開ける機能、もう一度締める機能、一度開けたことが分かる機能等を盛り込んでいます。このような機能を有するキャップを、私どもキャップメーカーは日頃より製品管理に万全を期し、飲料メーカー様のお手元にお届けしております。

ここに、清涼飲料用にお使いいただいております代表的なキャップについて、未開栓の状態と開栓済みの状態をお客様ご自身でご確認いただけますようご説明致します。お客様が清涼飲料をお飲みになる前に未開栓の状態をご確認ください。

清涼飲料用キャップの開栓されたこと分かる機構

清涼飲料用キャップはねじのあるキャップの本体とその下側にあるリングで構成されています。キャップ本体とリングはいくつかの細いつなぎ目(「ブリッジ」と呼びます)でつながり、キャップを初めて開けたときにこのブリッジが切れ、本体とリングが離れることでキャップが開けられたことが分かります。

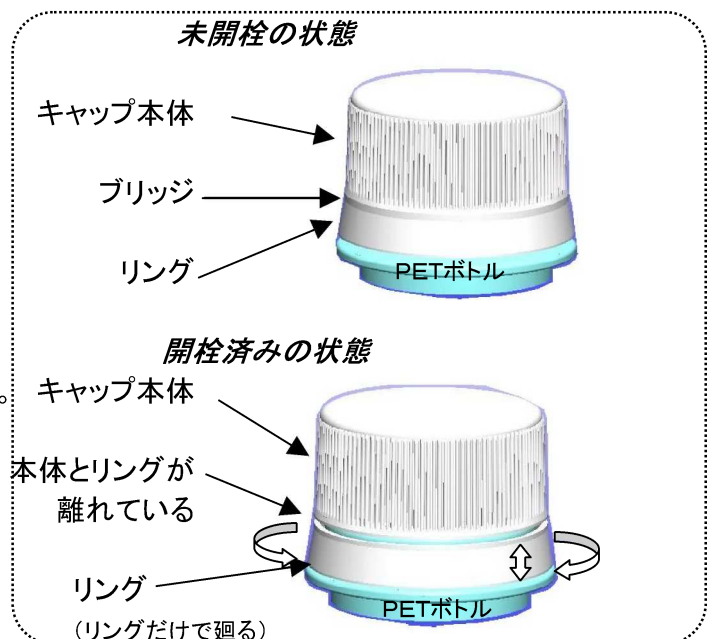


以下に代表的なキャップについてご説明します。

タイプ 1 プラスチックキャップ(PETボトル)

(A) 未開栓の状態

- ① キャップ本体とリングが「ブリッジ」でつながっています。
- ② 開栓するとき、キャップ本体とリングをつなげているブリッジが切れます。そのとき、手にわずかな振動が伝わり、かすかなカチツという音がします。



(B) 開栓済みの状態

- ① キャップ本体とリングが離れています。
- ② リングを手で廻すとリングのみが回ります。

タイプ 2 プラスチックキャップ(PETボトル)

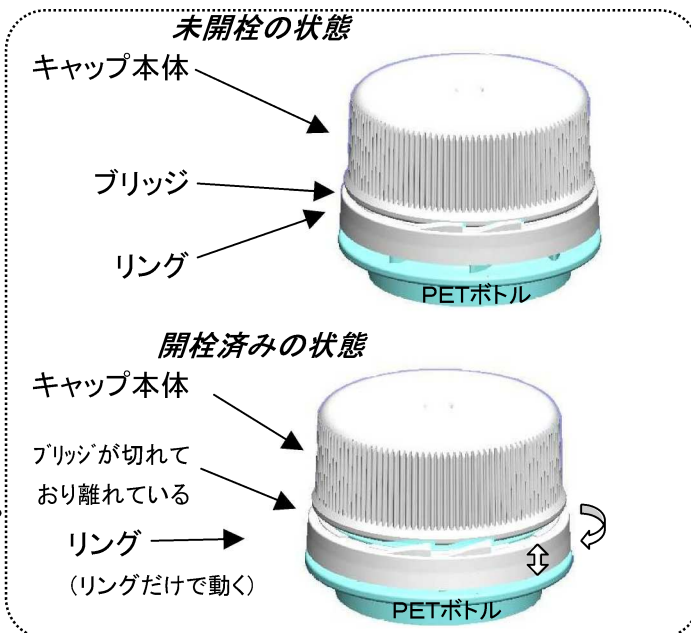
未開栓の状態ではキャップ本体とリングの間に少し隙間がある

(A) 未開栓の状態

- ① キャップ本体とリングが「ブリッジ」でつながっています。
- ② 開栓するとき、キャップ本体とリングをつなげているブリッジが切れます。そのとき、手にわずかな振動が伝わり、かすかなカチツという音がします。

(B) 開栓済みの状態

- ① キャップ本体とリングが離れています。
- ② リングを手で廻すとリングのみが少し動きます。



タイプ 3 金属キャップ(ボトル缶)

(A) 未開栓の状態

- ① キャップ本体とリングが「ブリッジ」でつながっています。
- ② 開栓するとき、キャップ本体とリングをつなげているブリッジが切れます。そのとき、手に振動が伝わりカチッカチツと音がします。

(B) 開栓済みの状態

- ① キャップ本体とリングが離れています。
- ② リングを手で廻すとリングのみが動きます。



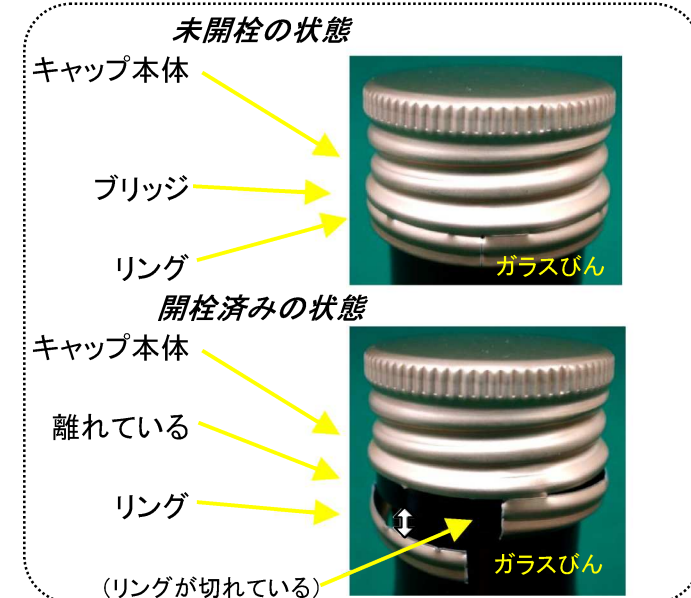
タイプ 4 金属キャップ(ガラスびん)

(A) 未開栓の状態

- ① キャップ本体とリングが「ブリッジ」でつながっています。
- ② 開栓するとき、キャップ本体とリングをつないでいるブリッジが切れ、リングが割れます。そのとき、手に振動が伝わりカチッカチツと音がします。

(B) 開栓済みの状態

- ① キャップ本体とリングのほとんどが離れて、リングが割れています。
- ② リングを手で触れるととリングのみが少し動きます。



※リングが取り外ずされていることがあります。